

あなたと議会の情報ネットワーク

あおぞら21

熊本県・みふね町議会



出初式で整列する御船町女性消防隊
(1月8日)

No.184
12月議会
R5.1

専決処分

本来、議会の議決・決定を経なければならない事柄について、地方自治法の規定及び議会の指定した事柄について、町長が議会の議決・決定の前に自ら処理すること。

町道小坂環状線車両事故に関する和解及び損害賠償の決定

陣区里道倒竹確認作業に伴う停電による飲食店への損害に関する和解及び損害賠償額の決定



契約の締結

地方創生道整備推進交付金事業 町道小敷田西往還線 道路改良工事

条例等の改正・制定

御船町一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定

御船町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定

御船町議会の議員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定

御船町職員の定年に関する条例の一部を改正する条例の制定

御船町議会議員及び御船町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定 など

同意

議案同様、議会の意思を決定するものであり、その決定に拘束される。

御船町固定資産評価審査委員会委員の選任（堀野弘子氏）

諮問

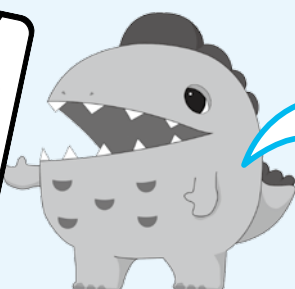
議会に対し、法令上定められた事項についての意見を聞くこと。議会は諮問を受けて意見を答申する。法的には答申内容に拘束されるものではないが、できるだけ尊重すべきものとされている。

人権擁護委員の候補者の推薦（松岡秀明氏、藤本龍巳氏）

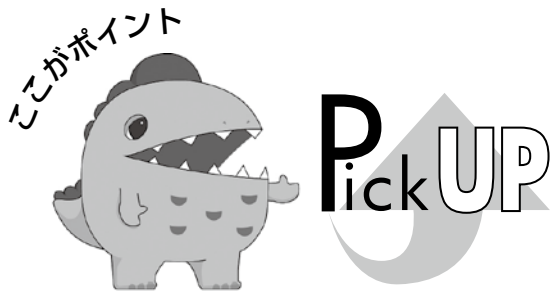


令和4年度補正予算

会計名		補正額	補正後合計額
一般会計		+449,332 千円	13,743,131 千円
特別会計	国民健康保険事業	+443 千円	2,457,995 千円
	介護保険事業	+1,693 千円	2,295,184 千円
	後期高齢者医療事業	+84 千円	301,422 千円
	緑の村運営事業	+441 千円	36,580 千円
	公共下水道事業	+43,823 千円	621,661 千円
	情報通信基盤施設運営事業	+100 千円	124,995 千円
	水道事業 収益的支出	+2,844 千円	303,197 千円
水道事業 資本的収入		+6,391 千円	111,168 千円
水道事業 資本的支出		+ 9,605 千円	270,612 千円



議会広報へのご意見、ご感想をお寄せください！
スマホのカメラでQRコードを読み込んで入力ください！



審議の一部を抜粋して掲載しています。他の審議内容はホームページまたは、情報開示コーナーをご覧ください。

このQRコードからどうぞ



高木セブン周辺の道路改良

問 町道小敷田西往還線の道路改良工事増額の原因に、土質試験の結果、利用するには土質を改良しなければならないとあるが、どのような土質だったか。

建設課長 非常に含水率の高い土質で、試験結果でも埋め戻し土としては適当でないとされた。

問 その他の理由に、歩道側に設置する転落防止柵のデザイン変更が280万円とあり、一番金額は大きいけどどのようなデザインにするのか。

建設課長 御船町のPRも兼ねて、恐竜の図柄にしたい。

問 隣接構造物の取扱いが補償から施工へと変更になったことで、補償部分が減額されているはずだが、増額分と差し引けばどうなるのか。

建設課長 当初算定した補償額が68万3,000円、

工事費に組み替えた場合が66万8,000円となるので、1万5,000円ほど安くなっている。



改良工事が進む小敷田西往還線



木倉小、教室を増築予定

問 木倉小の令和5年度入学児童数の増加に伴う机椅子の整備などがあるが、教室の整備はどうなっているか。

学校教育課長 本年度に特別教室の改修と増築工事を行う。それに関する入札等は終了している。来年度は校庭に増築を予定している。



令和4年度は支援学級を増改築中の木倉小



郵便局でマイナンバー申請

問 マイナンバーカード交付の郵便局委託の説明を求める。

町民税務課長 委託契約は九州郵政局の九州支店と行う予定。国から封書で送付された申請書一式を郵便局に持っていけば、交付申請作業が最初から最後までできる。

問 中山間部の簡易郵便局でもできるのか。

町民税務課長 玉来郵便局、水越郵便局等もあるが、今回は九州郵政局傘下の七滝郵便局、御船上野郵便局が対象である。

問 マイナンバーカードの取得率は、今年度どれくらいを目指しているのか。

町民税務課長 国はほぼ全ての国民が取得するという目標を掲げているので、町もこの目標に近づいていきたい。

問 コンビニでの住民票取得などのサービスは、どれだけの町民がマイナンバーカードを取得したら行うのか。

町民税務課長 町民の取得率は考えず、来年度には行う方向で検討したい。

問 入院等で体が動かず、本人のマイナンバー申請ができないケースにはどう対応するのか。

町民税務課長 マイナンバーカードの申請交付については、国の通知をもとに事業を行っており、今回指摘の状況についても国に確認し対応する。



郵便局でもマイナンバー申請が可能に



ごみ施設と地域活性化を研修

問 ごみ処理施設整備が行われる地域活性化の取組みに対する研修費として96万7,000円が出ているが、どこの、どのような取組みを視察するのか。

環境保全課長 視察先として、廃棄物処分施設から作り出される電力などを活用し公共施設や周辺エリアにもエネルギー供給をする取組みが実際に行われている、東京都武蔵野市、埼玉県越谷市などを検討している。この施設は、建設への過程で周辺住民や有識者等による協議会を設置し、地域と一体となった施設づくりがなされているので、このような部分も参考にしたい。

問 環境負荷軽減に関する視察研修などは考えているか。

環境保全課長 まずはエネルギーを活用した視察をして、今後は環境負荷の軽減等、様々な取組みがなされている先進地を視察する研修を行ってきたい。

問 先進地視察と言えば成功事例を視察するのが一般的ではあるが、逆に、失敗事例も研修する必要があるのではないか。

環境保全課長 今後は上手くいかなかった事例なども含め情報収集に努める。



「復興の鐘」設置場所を再検討

図 復興祈念モニュメント作成委託料が減額補正されているが理由は何か。

企画財政課長 当初予算は設置工事の予算を含めて組んでいたが、設置については再検討することにした。理由は、設置場所をふれあい広場内のブルック像の横と考えていたが「景観上不都合がないか」「防災公園などに設置する方法もあるのでは」「固定式ではなく可動式も考えられるのでは」ということも検討するために一度ゼロベースで考え直すことにして、今回補正予算を計上した。



10月の復興祭でお披露目された復興の鐘



小坂小周辺の道路改良工事

図 ふるさと納税を財源とした設計業務委託1,000万円があるが、設計委託のみで1,000万円となれば工事は相当高額になるのではないかと説明を求める。

建設課長 町道の小坂線と久保万ヶ瀬線の側溝整備及びカラー舗装に係る測量設計業務委託である。工事の規模は3,400万円程度を予定している。測量業務が入っていることで設計費が高額になっている。工事内容は、延長が約580メートル、カラー舗装を45センチの幅で整備をしたい。

図 カラー舗装45センチというのは狭くないか。

建設課長 広く引けるところは広く引きたいと考えているが、用地の関係もあり最大で60セ

ンチ程度、狭いところは20センチ程度となる。

図 カラー舗装は、片側か両側か。

建設課長 片側だけを予定している。



側溝に蓋のない小坂小の通学路



木倉学童クラブを運営委託

図 債務負担行為における学童保育事業の説明を求める。

こども未来課長 木倉放課後児童クラブの運営は、現在保護者会により運営をされている。しかし、来年度以降は保護者会での運営が困難なことから、令和4年10月にクラブ運営等外部

委託に関する要望書が保護者会から提出をされた。これを受け、来年度開始前に、クラブ運営業務の事業者の選定、契約に関する事務執行などの準備行為を行うために債務負担行為を追加した。

ただ 町政を質す！

動画配信は
こちらから



12月議会一般質問



福本 悟 議員



公共の場の環境整備の
推進は



福永 啓 議員



課題解決はできたのか



田上 忍 議員



就学支援が御船町独自
だが



増田 安至 議員



高齢者に優しいデジタ
ル社会の実現は可能か



宮川 一幸 議員



中山間地域の移住定住
と活性化は！



井藤はづき 議員



農業を支えるために何
ができるか



藤川 博和 議員



調整池設置・用水路改
良し御船川へ



田上 英司 議員



上益城5町ごみ処理施
設建設は



森田 優二 議員



約450箱の岩石の整理、
何年かかるのか

公共の場の環境整備の推進は

A. 誰もが安心して暮らせるよう整備を行う

福本 悟 議員



◀動画をチェック

質問の背景

人にやさしくだれもが利用しやすい環境整備について、計画的な改修等が出来ているのか。「第3期御船町障がい者基本計画」の策定から1年7ヶ月余りが経ち、ユニバーサルデザイン化、バリアフリー化の推進について、整備状況及び計画について伺った。

問 公共の場の環境整備の推進は

町長 バリアフリー法やユニバーサル社会実現推進法などに則り、改修等を行っている。これからも、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう整備を行っていく。

問 バリアフリー基本構想の作成は

福祉課長 主に駅やバスターミナルを中心とする地区や障がい者等が利用する施設が集まった地区について作成するよう努めるものとされ、作成していない。

問 ユニバーサルデザイン化、バリアフリー化の推進は

企画財政課長 全ての人が利用しやすい施設となるよう改修等を行っている。今後、総合計画のSDGsの取組と併せて推進していく。

問 歩行空間の整備は

建設課長 視覚障がい者用の誘導ブロック設置や通学路安全点検等により歩道の設置を行っている。用地の確保が難しい箇所は、カラー舗装等により歩行者空間の確保に努めている。

問 町営住宅の汚水処理施設（トイレ）の整備計画は。

建設課長

継続管理を予定の七滝・玉虫団地における合併浄化槽は、令和5年度から8年度にかけて予定。



合併浄化槽設置予定の七滝団地

問 スポーツセンターのトイレ改修は

社会教育課長 女性用に洋式の数が少なく、今後、建物の構造等を専門家に見てもらい改修を検討していく。

問 認知症バリアフリーの取り組みとは

福祉課長 認知症になってからもできる限り住み慣れた地域で普通に暮らし続けていけるよう、生活のあらゆる場面で障壁を減らしていく。

問 公共の場の環境整備の推進は、ユニバーサルデザイン化、バリアフリー化の考え方を庁内で共有化を図り、現状把握、使い勝手がどうかそして事業計画を策定すべきと考える。町長の考えは

町長 今後、長寿命化計画の改定などにおいて、バリアフリー化及びユニバーサルデザイン化を盛り込み、改修においても計画的に整備できるよう取り組んでいく。

質問を終えて

人にやさしくだれもが利用しやすい環境整備の基本となる「第3期御船町障がい者基本計画」が絵に描いた餅にならないよう、担当課を中心にユニバーサルデザイン化、バリアフリー化の考え方を庁内で共有化を図り、今後の整備に期待する。



課題解決はできたのか

A. 未だ解決に至っていない部分もあり、
真摯に取り組んでいく



動画をチェック▶

質問の背景

藤木町政8年間を振り返り、主に、熊本地震、竹バイオマス問題、光ファイバー問題について、現状と認識について質問した。

熊本地震について

問 復旧については、一定程度の目安ができてきたように感じる一方で、創造的復興についてはこれからの部分も多いと感じる。創造的復興については、どのような部分がまだまだなのか

町長 創造的復興で大変重要な部分である「心の復興」に関しては、コロナの影響もあり、道半ば。すべての町民が、本当に良い町になった、ワクワクするような町になったと感じるように、教育、環境、文化、芸術、スポーツ等、心の復興に資する施策に関して、ソフト面、ハード面、共に力を入れていきたい。

竹バイオマス問題について

問 なぜこのような問題が生じたのか。このような問題が二度と生じないためにどうしたらよいのか

町長 期待をもって事業に着手したものの、途中で事業遂行に課題が生じたことが判明したとき、町は止めることが出来ず、そのまま継続して事業を進めていったことに大きな問題があった。これを教訓とし、計画の立案・管理・完了までしっかり確認をしながら、町政運営に努めなければならない。

光ファイバー問題について

問 光ファイバー網の民間譲渡は、11年前に、約8億円の補助金で町が整備した設備を無償で民間譲渡し、加えて約8000万円の補助金という追い銭を打つ計画である。一方で町が独自に整備した機器については、約1億2000万円で売却するため、譲渡事業にあたって町の実質上の負担はないが、そもそも国の補助金は私たちの税金であり、しかも、補助金の約半分は、この事業以外にも使えたところを他の事業に優先して投入している。民間譲渡は大変重大な決断だがその決断に至った理由はなにか

町長 このままでは、町の財政上多額の負担を強いられることになり、加えて、高額な加入者負担金や、申込みから通信開通までの工事期間の長期化等の課題に加え、企業誘致にも影響が及んでいた。町として苦渋の決断、しかし、最善の決断として、今回の民間事業譲渡となった。



課題解決は町民と共に！

質問を終えて

今回の質問以外にも、解決しなければならない政策的課題は山積しており、町の課題解決にあたっては、執行部のみならず、議会の役割も極めて重要である。

就学支援が御船町独自だが A.次年度より熊本市基準に変更する

田上忍議員



質問の背景

低所得、ひとり親子育て世帯の対する支援は御船町に住んでいても熊本市に住んでいても、熊本県に住んでいれば同じ支援が受けられるべきだ。そこで、御船町の支援がどうなっているかについて質問する。



◀動画をチェック

図 御船町の支援はどうなっているか

町長 低所得、ひとり親子育て世帯が抱える悩みは様々であり多方面からの支援を必要としている。子育てや教育、医療等にかかわる窓口で相談事業を行い、福祉、教育、医療等の関係部署が連携して対応している。

図 生活支援はどうなっているか

こども未来課長 相談型の支援として該当の保護者が抱える悩みや経済的な問題解決に向けた伴走型の支援を行う窓口として今年度から、子ども家庭総合支援拠点を設置し、専門職及び児童相談員が現務に当たっている。経済的支援として児童手当、子ども医療費助成、養育医療費、育児用品券がある。またひとり親に特化した支援で児童扶養手当、ひとり親家庭等の医療費助成、今年度の限定措置だが子育て世帯生活支援特別給付金がある。

図 支援を受ける基準はどうなっているか

こども未来課長 他の自治体と同じ支援基準となっている。育児用品券は町独自の支援事業なので基準も独自である。

図 就学支援はどうなっているか

学校教育課長 低所得者、ひとり親世帯への支援につきましては、学校教育法及び学校保健安全法に基づき、経済的な理由によって就学困難と認められる児童生徒または入学予定者の保護者に対し就学援助を行い、学用品一式、給食費、修学旅行費などの援助を行っている。

図 支援の基準はどうだ

学校教育課長 生活保護世帯、そのほか生活保護世帯同様に困窮していると教育委員会が認めた世帯となっている。生活保護の基準に一定の係数を掛け、その基準額以下である世帯としている。

図 認定にどれだけの労力がかかっているか

学校教育課長 申請書、添付資料の確認、基準枠の計算にかなりの日数がかかっている。計算は自治体によって認定基準が異なる。

図 認定が他自治体と異なるが今後どうするのか

学校教育課長 学校教育課で調査して教育委員会で認定基準の見直しを協議した。次年度から熊本市基準を参考に変更したい。新たな基準になると今年度は20人弱が追加となり約103万円の増額だ。

図 約20人に対して遡及処置はできないのか

企画財政課長 法令不遡及の原則等もあり令和5年度からの適用が適当である。

続けて廃校になった学校の活用について質問を行った。



御船中学校

質問を終えて

今までは御船町独自の認定方式であったが次年度から熊本市と同等になる。このような案件はもっと早く指摘して見直すべきだったと感じた。



動画をチェック▶

高齢者に優しいデジタル社会の実現は可能か

A. 「誰一人取り残さない、人にやさしいデジタル化」を目指します

質問の背景

近年、情報通信技術の進化が止まらない。次年度から、高齢者の医療・介護・地域公共交通など多方面の影響が考えられるため、執行部に質問した。

問 オンライン化と高齢者負担・地域公共交通はどうか

町長 国は「デジタルの活用により、多様な幸せが実現できる社会、誰一人取り残さない、人にやさしいデジタル化」を目指し、子育て・介護・被災者支援など利便性向上を享受できる新システムを導入する。町でも令和5年から新システムの稼働予定で、高齢者への負担軽減に努める。

問 デジタルサービスとは

総務課長 令和5年1月から、子育て15手続き、介護11手続き、被災者支援1手続きの計27の手続きについて、オンライン手続きが可能となる。

問 マイナンバーカードをコンビニで使用できないのはなぜか

町民税務課長 令和5年度内にコンビニ交付を対応する。

問 町のカード取得率は

町民税務課長 約50%（令和4年11月20日現在）。

問 自動車保有関連への影響は

総務課長 車検時納税証明書の提出が不要となる。軽自動車税は令和5年4月からQRコード対応となる。

問 介護保険負担や医療費負担はどうか

福祉課課長 介護保険料は、令和3年度から令和5年度まで基準額の変更不要い。

健康づくり保険課長 医療保険は、65～74歳の国保高齢化率は年々増加し、「団塊

(参考) 御船町の過去3年間の国保高齢化率推移

①令和元年度	4,416人(2,061人)	46.6%
②令和2年度	4,251人(2,095人)	49.2%
③令和3年度	4,111人(2,097人)	51.0%

の世代」が後期高齢者に切り替わるため給付費の増加が予測される。

問 個人負担はどうか

健康づくり保険課長 疾病の早期発見・予防に努め出来るだけ負担が少なくなるよう対応する。

(参考) 御船町の過去の保険料率

年 度	均等割額	所得割率
平成30年度・令和元年度	47,900円	9.26%
令和2年度・3年度	50,600円(+2700)	9.95%(+0.69)
令和4年度・5年度	54,000円(+3400)	10.26%(+0.31)

医療保険改革による負担の増減

	後期高齢者	健保組合	協会けんぽ	国民健康保険
◆ 出産育児一時金増額	130億円	160	220	60
◆ 高齢者の保険料負担見直し	820	▲290	▲300	▲80
◆ 現役間の保険料調整	—	600	▲970	20

※厚生労働省試算より制度別の2024年度の年額。▲はマイナス

	24年度	25年度
年収80万円	—	—
200万円	—	3900円増
400万円	1万4000円増	—
1100万円	6万円増	7万円増

※24年度の加入者1人当たりの年額。25年度は、24年度からさらに追加される金額

問 「みふねバスフェスタ2022」は

企画財政課長 本年11月20日に交通事業者と連携してバスの乗り方説明を行った。町中心部をバス乗車体験、バス運転席で記念撮影、ぬり絵・クラフトコーナーなど行い、約160名の参加があった。

問 限界集落へのサポートは

企画財政課長 地域の特性・ニーズを十分把握して使い勝手の良いものを計画する。

問 実証実験はどうか

企画財政課長 来年度に試験運行を予定。

質問を終えて

デジタル社会は高齢者にとって住みにくい社会。国の施策をどう実現するか、町の対応を見守りたい。

中山間地域の移住定住と活性化は！

A・定住する仕組みを共に考え、できることからなし遂げていきたい



宮川一幸議員



◀動画をチェック

質問の背景

中山間地域の移住定住と活性化について、令和3年10月に、御船町中山間地域移住定住促進協議会を設立され、本協議会より御船町へ御船町中山間地域に住みたい、住んでよかった、住み続けたいと思う人を増やすための提言がされている。

そこで、御船町の提言に対する対応について質問する。

問 中山間地域に特化した課の設置をする考えは

総務課長 来年度すぐにとは考えてない。今後の検討課題にする。

問 御船町中山間地域総合計画の策定をする考えは

企画財政課長 御船町総合計画の基本施策に、移住定住の促進がある。中山間地域の移住定住施策を重要項目の1つとして実施計画に掲げ、その成果を検証していく。

問 総合計画の策定ができないのであれば、御船町中山間地域活性化計画は策定できないか

企画財政課長 中山間地域活性化計画または振興計画は、他自治体に策定されている例があるので参考にしていく。

問 七滝中央小学校、滝尾小学校の児童数減少対策について、何らかの対策を講じていくべきと思うが、町の考えは

学校教育課長 七滝中央小学校の小規模特認構成制度を活かし、就学前の児童の保護者に対して、学校見学会などを行っている。各学校の特色などをホームページや広報などを通して紹介していく。

企画財政課長 町ホームページに掲載する移住定住サイトが非常に重要な役割を担っている。現在、移住定住サイトの内容の充実に向けて作業を進めている。空き家バンク等の情報ははじめ、求人情報や町内小・中学校のサイトとリンクするなどして、住みよさをしっかりPRをしていく。

問 中山間地域における移住定住の受け皿づくりについて、地域の魅力発信と併せて受入れ体制の整備が必要であるが、町の方針は

企画財政課長 御船町空き家等対策計画に基づき、来年度は空き家調査を実施。町内の空き家を把握し、空き家バンクへの登録を促進し有効活用したいと考えている。また、上野地区にある空き家を改修し、おためし移住ハウスとして活用し、移住定住につなげていきたい。

問 上野吉無田インター周辺への、企業誘致の予定は

商工観光課長 第6期総合計画や復興計画では、産業新興エリアに位置づけてあるが、周辺は起伏と高低差が大きく平坦地が少ないので、狭い敷地でも立地できる企業誘致を推進するなど、産業振興に取り組んでいく。

問 廃校を利用した小さな拠点づくりについて、町の方針は

社会教育課長 廃校を利用した小さな拠点づくりについて、町の方針は立ててはいない。地域の意見を伺いながら、活用を考えていく。



協議会とボランティアによる空き家の清掃

質問を終えて

協議会からの提言に対し、町も真摯に受けとめ、検討するにとどまらず、できるものは早急に実施し、時間を要する提言は協議会と協議しながら前向きに対応していただきたい。



農業を支えるために 何ができるか

A. 現状をふまえた支援を検討する



動画をチェック▶

質問の背景

産業としてだけでなく多面的な機能を担う農業ですが、いま危機的状況にあり支援を必要としています。今回は農業者の生の声を行政に届けたいという思いで質問しました。

問 まずは、今営農している農業者が長く続けられるよう、国の災害復旧事業の対象から外れてしまう小規模の災害復旧を町で支援できないか

農業振興課長 中山間地域等直接支払交付金を活用した集落単位での農地保全に加え、特に災害が多く耕作条件の不利な中山間地域農業の持続可能な営農につなげるためには必要な支援だと考え、協議を進めていく。

問 御船町の課題である竹林整備で、粉砕機の導入を検討している農業者もいるが高額のため踏み切れない場合も多い。町で粉砕機を所持し貸し出すことはできないか

農業振興課長 竹林による森林荒廃が問題となっている。中山間地域ではタケノコが主要な生産物の1つでもあり、農業者支援事業の1つとしてこれから検討を行う。

問 鳥獣被害対策として町としても様々な取り組みをされているが、情報が行き渡っていない。改めて現在どのような支援策があるか

農業振興課長 国庫事業での電気柵・ワイヤーメッシュ柵支援があるが、要件に該当しない部分を町単独で支援している。補助率は50%、上限額は15万円である。来年度からは年2回の広報掲載と併せて、各種会議で周知を行う。

問 1反以上という面積要件は中山間部の実情に合わないので緩和の考えはないか。また、昨今の物価高から補助率の拡充も必要ではないか

農業振興課長 中山間地域の営農状況を踏まえた面積要件の緩和と併せて、補助率拡充の協議を行う。

問 最近はシカやアナグマが増えているが、現状を踏まえて捕獲報償金の内容を見直す考えはないか

農業振興課長 令和2年度からくくりわなによる捕獲の実施で、シカの捕獲実績が伸びている。また、アナグマ被害は年々増加し対策の必要性が強い状況だ。シカ捕獲報奨金の拡充とアナグマ捕獲報奨金の新設について検討する。



農作物や家畜の飼料を食べて丸々太ったイノシシ

質問を終えて

今回はこの他にも「学校施設の改修」について質問しました。ほとんどの学校施設が築40年を超える中、子ども達が学ぶ環境を整えるために早急な改修が求められます。

調整池設置・用水路改良し 御船川へ

A.プロジェクトチームを
編成し、調査中

藤川
博和
議員



◀動画をチェック

質問の背景

役場周辺やふれあい広場の内水対策について、又、辺田見山からの大量の雨水を上辺田見地区の用水路を改良し御船川へ排水が出来ないか。

小・中学校の英会話授業の状況。コストコ出店で町に影響はあったか。

コストコから町内市街地までの開発について質問する。

問 内水対策について、集中豪雨の時、辺田見山から大量の雨水の排水対策は、どのように考えているか

環境保全課長 上辺田見地区に調整池の設置や現在使用している用水路を改良し、御船川へ排水出来ないか。庁内にプロジェクトチームを編成して、調査を行なっている。

問 小中学校の英会話授業にリスニングやスピーチが出来る機材は整備されているか

学校教育課長 教室では、ペアになって会話をしたり、グループで英会話を行ったり、タブレットを使用し、発音を聞いて、発声の練習を行なっている。

問 都立高校入試に、本年度から、スピーキングテストが実施されたが、熊本県では、いつから実施されるか

学校教育課長 実施は未定。

問 コストコ出店により、町に影響はあったか

商工観光課長 ネームバリューが増し、町の知名度が向上した。又、周辺に多くの企業やマンションが建ち、町の活性化になっている。

問 コストコから、市街地までの開発計画は

商工観光課長 445号線沿いに、インター

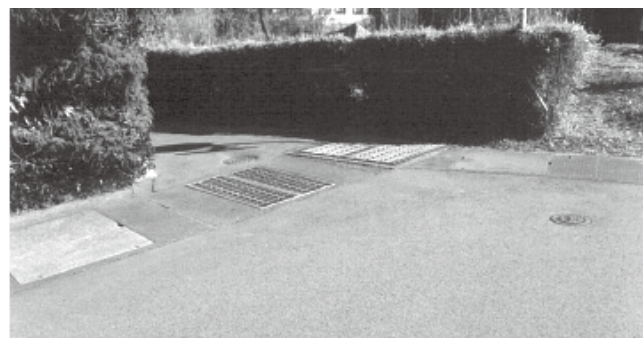
チェンジから市街地まで商店や住宅が立地出来るように土地利用調整ゾーンとしている。

問 台湾からの企業進出の状況は

商工観光課長 台湾を訪問し、台湾青年会議所、顔副会頭を企業誘致のアドバイザーに任命した。

問 町長に本日の課題について、解決には数年かかると思う。実現に対して、町長の考えは

町長 今後の町づくりを進めていく上で、非常に大事な課題であると認識している。一朝一夕に解決できる課題ではない。課題に向けて、短期的・中長期的対策を講じながら、実現に向けて引きつづき、しっかりと取り組んでいく。



上辺田見地区の用水路

質問を終えて

内水対策は、プロジェクトチームを編成して、調査の段階へ前進している。

英会話はヘッドホンを使用して、英会話の上達を目指す。

宅地開発により、住宅や人口が増加し、コストコ出店により、企業の進出も増加して、町の固定資産税が約1億円以上の増額が見込まれる。



上益城5町ごみ処理施設建設は

A.丁寧に説明責任を果たすことが町の責任である

動画をチェック▶



質問の背景

5回目の関連質問、地方自治は民主主義の根幹であり、議会は言論の府、議員活動の基本は言論である。将来の御船町の礎を作るうえで問題を先送りすることがあってはならない。

問 今後の御船町の役割について

環境保全課長 町道・農道のインフラ整備、交通安全対策、地域振興策の実施、県条例に基づく環境アセスメントへの対応、住民への説明がある。

問 環境保全条例を作る予定はないか

環境保全課長 環境保全条例の制定は検討していない。

問 地域協議会を立ち上げるといって、どういう性格なのか、推進協議会か

環境保全課長 施設建設を推進する組織ではなく、地元の意向のための協議会である。

問 住民の不安・懸念の解消にもっと努力が必要、さらにこれからも力を入れていけるか

環境保全課長 今後も丁寧な説明で理解を求めていき、尽力していきたい。

問 環境アセスメントに不適合となれば責任は町にあるとの町長発言もあったが、最終的な白紙撤回も視野に入っているのか

環境保全課長 可能性はゼロではないと認識しているが、具体的な協議は進めていない。

問 本来、事業者によって利益を追求する資

本主義は地球温暖化などの環境汚染をもたらすことから行政の裁量権の見地から住民の命の危険性を払拭する考えはないか

環境保全課長 町の課題などを解決するため住民の理解を得ながら前に進めることが行政の役割と認識している。

問 この問題に関する行政の価値観とは何か

環境保全課長 一般廃棄物処理への町の責任を果たし、財政負担を軽減し、将来における住民サービスを位置づけ住み続けたい御船町を実現することにある。

問 町のため、住民のためという崇高な価値観は年齢や立場が変わっても変わることなく全体の奉仕者として頑張りたい。事業者のこの事業にはデメリットはないという前提での環境アセスは信用できない、上野から引越すという住民もおられ移住定住も危ぶまれるのではないのか

町長 住民を納得させるといって進めてはいない、より良い事業になるよう、共に考え・学び、共に進めていきたい。



この声を無視できるのか

質問を終えて

価値観を共有できなければ考え方は平行線のままであり、行政への批判・不信は続く、今まさに真剣に考える大切な時期である。

約450箱の岩石の整理、何年かかるのか

A. 整理が進むよう計画的に進めたい

森田 優二議員



◀動画をチェック

質問の背景

収蔵物の移転もようやく終わり、交流ギャラリーも通常の使用ができるようになった。しかし、多くの課題が残っている。10周年に向け早急に課題改善、組織改革が必要と思われる。

問 約450箱の岩石の整理は、今後どのような計画を立てているのか

社会教育課長 化石を取り出す作業をしている。年間150個程度、約3箱程度である。

問 年間3箱程度だったら、450箱は何年かかるのか。まず岩石の整理が必要ではないのか

教育長 450箱の岩石が、少しでも整理が進むように計画的に進めていきたい。

問 9月議会の一般質問で、答弁ができていない件について、昨日報告があった。1枚に簡単にまとめてあったが、数字の根拠が分からない。再度根拠を示してほしい

教育長 資料に基づき分かりやすく数値化したものである。何十枚という資料はある。

問 きちんとした答弁を求めたい。それでは「その他見本21個、破損及び不明分17個」の説明を

社会教育課長 見本と破損については確認していない。

問 カルチャーセンターのホールの管理費と使用料は

社会教育課長 管理費は約796万円。使用料は約90万円。

問 益城の文化会館のような自主事業出来ないのか

社会教育課長 益城は指定管理制度で運営。自主事業を増やしたい。

問 町長も1期目は熊本地震、2期目はコロナ禍でなかなか動けない中に、コストコの誘致、ビジネスホテルの誘致、11月には台湾企業誘致の説明会参加のために台湾へ行くなど、積極的な行動が見られた。3期目は、これまでの経験を活かし、御船町の将来像を作ることが使命だと思うが、この3期目に対しどのような考えかをお聞きしたい

町長 御船町の総合的復興そしてその先の発展を実現し、何よりも町民の皆様の笑顔が満ち満ちているまちづくりを進めるために努力を尽くす覚悟である。御船町のまちづくりを引き続き進めていく、そのためにこれまで取り組んできた経験を生かして、3期目となる次期町長選に出馬することを決めた。この場を借りて、宣言する。



山積みされている未処理の岩石

質問を終えて

町長の3期目の出馬表明もあったが、1期目、2期目で培った経験を活かし、「ワクワクする御船町・住み続けたい御船町」の実現に向かって頑張ってください。

また、一般質問で答弁できないようなグッズ販売には問題がある。早急な改善が求められる。

大雨のたびに浸水被害、何とかして欲しい

産業厚生常任委員会 委員長 岩永宏介

下辺田見横手地区から、用水路が浅いため十分な排水ができない、下辺田見公園から御船川に流れ込む用水路が1本のみで大雨のたびに公園の用水路から地区の用水路に逆流して浸水被害が発生している。何とかならないかと陳情書が出された。委員会では、担当の建設課と現地に行き状況を確認し、対応策を協議した。公園の用水路は国土交通省管轄であることから、まず建設課に国交省緑川上流出張所と協議をすべきだとの結論に至った(6/16)。

緑川上流出張所との協議の結果を聞くため2回目の委員会を開いた。国としては陳情書の件については了解するが、要望書を出すにあたっては浸水の状況が分かるような写真等を要望書に添付して欲しいとのこと。陳情者に写真等がないか尋ねたが、写真等はない。建設課としては7月の豪雨時に現地に足を運んだが、浸水状況

にはなく写真は撮れなかったこと、また町の「内水対策プロジェクトチーム会議」において、横手地区を新たに浸水対策地域に追加して、今後対応を検討することになった等々の報告を受けた。

以上の報告を踏まえて委員会は陳情書を「趣旨採択」とした(12/19)



現地視察する委員ら(6/16)

「予算決算特別委員会」3月議会から始動

予算決算審査検討特別委員会 委員長 福永 啓

委員外の議員、及び執行部から意見聴取を行い、予算決算の委員会審議について、最終案をまとめた。今後、2月の議会で「予算決算特別委員会」を立ち上げ、3月の議会で初めての委員会審議を行う計画となっている。委員会審議について、フロー図(P17 参照)を作成した。

検討委員会発足

R4. 5月



発足第1回目の会議

R4. 6月



福岡県先進地視察

R4. 9月



専門家の意見聴取

R4.11月



執行部の意見聴取

予算決算特別委員会始動

議 会

執行部

委員会の判断で
行う部分

必要に応じて、専門家からの意見聴取や現地調査等の調査を行うことができる

(必要に応じ)総務文教・産業厚生両常任委員会合同で、予算及び関連議案に係る事前調査を行う

- ・ 事前調査に必要な資料の提出・説明・質疑に対する答弁

委員長報告の策定・執行部へ提出

流れはこれまでと同じだが、
若干の違いが出てくる部分

当初予算案及び決算は委員会付託。補正予算案及び関連議案等は、議運の判断により付託もしくは本会議審議を決定。(補正予算案等の委員会付託は、選挙後の肉付け予算案や定例会の補正予算案等を想定)

議会運営委員会

本会議審議事項の決定

全員協議会

議会運営委員会決定事項の報告等

本 会 議

議案上程、予算案・決算の委員会付託

(定例会のみ一般質問)

- ・ 議会運営委員会決定事項に必要な資料の提出・説明・質疑に対する答弁

- ・ 執行部提案議案審議に必要な資料の提出・説明・質疑に対する答弁

- ・ 執行部提出議案上程時の簡素な説明
* 提出議案に対して事前調査が行われ、委員長報告が提出されていた場合は、委員長報告に対する意見・回答等を合わせて行う

- ・ 一般質問に対する答弁

新たに加わる部分

必要に応じて、専門家からの意見聴取や現地調査等の調査を行うことができる

従来の質疑に加え、所信や中長期計画に対する質疑など、大綱的質疑の時間を別途設ける

議員間討議により、必要となった場合は、執行部に対する質疑を再開することができる

本会議場から委員会開催場所へ

委 員 会

議員間討議

執行部に対する質疑

議員間討議

委員会採決

委員会開催場所から本会議場へ

- ・ 予算・決算質疑に対する答弁

- * 質疑前における執行部の説明は、執行部が特に求める場合や、委員会から特に求める場合を除き、原則行わない
- * 審議内容によって、答弁員・説明員を交代できる

流れはこれまでと同じだが、
内容に若干の違いが出てくる部分

本 会 議

委員長報告

討 論

採 決

委員会付託議案以外の議案審議

討 論

採 決

委員長報告に対する質疑は省略

- ・ 執行部提案議案質疑に対する答弁

人と人がつながる御船町



中辺田見
藤山裕誠

私は6年前に山都町から御船町に引っ越してきました。実家が農業をしているので、私が小学生の時は平成音楽大学付近でジャガイモや人参の収穫の手伝いをし、お昼ご飯にはよく福寿亭やたしろ食堂に兄弟と父親と一緒に食べに行っていました。当時はまだスーパリーや住宅地も少なく田んぼが一面に広がっていたのをよく覚えています。

また、長男が御船町を拠点として活動しているサッカーチーム(ヴァンクール熊本)に所属しており、このチームの人としての育成方針や『チャレンジすることの楽しさ』『成長する喜び』『勝利の喜び』に共感し、毎週火曜日と木曜日に御船町民グラウンドで練習をしています。今年は県大会準優勝という結果でした。コーチと保

護者、選手が一丸となって掴んだ結果だと思っています。私は、元々山都町出身なので御船町に知り合いが多いわけではありません。同じチームの保護者が人見知りの私を快く受け入れてくれ、今では一緒に町内の居酒屋で飲んだり家族ぐるみの付き合いをしています。

そして、休日には3人の子供とも達と一緒に恐竜公園に行きます。公園では親も子も楽しくいろんな会話をしたり子育てについて話してみたり、恐竜公園が一つのネットワークとなり人と人が繋がり地域の絆の場になっていると感じています。沢山の出会いに感謝しこれからの御船町の更なる発展に期待しつつ、私たちが自身でできる事を見つけていきたいと思っています。

議会の予定 2月

- 3日(金) 全協(予定)
- 9日(木) 議会(予定)
- 21日(火) 上益城広域連合議会、上益城消防組合議会
- 22日(水) 県議長会定期総会
- 24日(金) 御船町甲佐町衛生施設組合定例会、議運(予定)
- 27日(月) 御船地区衛生施設組合議会定例会

議会HPはこちら



ご意見・ご感想はこちら



3年ぶりのサロニック開催
(1月14日)

モニターコラム



多くの町民の
傍聴を期待

「民主主義は発言しない者には味方しない」という言葉があります。また、「発言しないのは民主主義の放棄である」という言葉もあります。この言葉は、国の政治だけではなく地方の政治にもあてはまると思います。

私が議会モニターに応募した理由の一つは、議会を傍聴し、私見を提言し、その中の一つでも町の政治に反映されればいいと思ったからです。

かつて、東京都杉並区の一

女性が発稿した新聞記事をきっかけに、全国に核兵器反対運動が広がっていききました。たった一人の発言が世の中を動かしていったのです。

傍聴席にはまだまだ空席があります。御船町をよくするために、年に数回でもいいですから、ぜひ多くの町民の皆様が議会を傍聴されることを期待します。



常石訓弘
議会モニター